

中心市街地活性化協議会平成19年度事業報告

甲府商工会議所と甲府中央まちづくり(株)が中心となり、平成19年4月13日に設立した甲府市中心市街地活性化協議会の運営を行い、甲府市中心市街地の住民・商業者等のコンセンサス形成を図った。

また、当協議会の運営にあたっては、(株)岡島より経営企画室課長の野澤崇氏を派遣(非常勤、無報酬)いただき、会議所職員との体制により事務局対応を図った。

なお、甲府市が検討している中心市街地活性化基本計画に対して事業提案を行うため検討商店街に対して個別指導等を行った。

(1) 本協議会の開催(5回)

第1回

開催日時	平成19年4月13日(金) 午後3時~午後4時45分
開催場所	甲府商工会議所4階401会議室
出席者	18名(本人出席18名)
協議内容	・協議会の役割について(委員・規約の説明、活動内容等含む) ・会長・副会長の選任について ・甲府市の計画策定スケジュールの説明と旧計画の検証概要の報告について(甲府市より説明) ・青森市・富山市の認定計画の概要及び全国の状況について

第2回

開催日時	平成19年6月4日(月) 午前9時30分~午前9時55分
開催場所	甲府商工会議所4階401会議室
出席者	15名(本人出席13名)
協議内容	・規約の一部追加について ・交通・駐車場等検討ワーキンググループの設置について

* 会議終了後、「(株)まちづくり長野」視察のため、長野商工会議所を訪問

第3回

開催日時	平成19年8月8日(水) 午後2時~午後3時55分
開催場所	甲府商工会議所4階401会議室
出席者	13名(本人出席13名)
協議内容	・交通問題検討ワーキンググループの活動状況について ・商店街検討事業の状況について ・甲州夢小路(仮称)事業の提案について ・商店街関連のソフト事業の提案について

第4回

開催日時	平成19年10月11日(木) 午後2時~午後3時
開催場所	甲府商工会議所4階401会議室
出席者	16名(本人出席16名)
協議内容	・まちづくりを取り巻く最近の状況について

(中小企業基盤整備機構の鈴木サポートマネージャーより)

- ・甲府市中心市街地活性化基本計画策定の状況について
(首藤副市長より)
- ・中心市街地活性化基本計画提案事業について
- ・ペルメ桜町・コリド桜町に提案した事業(案)について

第5回

- 開催日時 平成20年1月16日(水) 午後2時~午後4時
開催場所 甲府商工会議所4階401会議室
出席者 18名(本人出席17名)
協議内容
- ・甲府市中心市街地活性化基本計画について
(甲府市の中心化市街地活性化主幹 中澤氏より)
 - ・駐車場問題検討ワーキングの開催状況について

(2) 交通問題検討ワーキンググループの開催(4回)

第1回

- 開催日時 平成19年6月28日(水) 午後4時~午後5時20分
開催場所 甲府商工会議所4階401会議室
出席者 12名(事務局を除く)
協議内容
- ・レトボンの拡大運行他公共交通提案事業について

第2回

- 開催日時 平成19年7月24日(火) 午後2時~午後3時40分
開催場所 甲府商工会議所4階401会議室
出席者 11名(事務局を除く)
協議内容
- ・レトボンの拡大運行他公共交通提案事業について

第3回

- 開催日時 平成19年8月22日(水) 午後4時~午後5時30分
開催場所 甲府商工会議所4階401会議室
出席者 9名(事務局を除く)
協議内容
- ・レトボンの拡大運行他公共交通提案事業について

第4回

- 開催日時 平成19年9月20日(水) 午後2時~午後3時30分
開催場所 甲府商工会議所4階401会議室
出席者 9名(事務局を除く)
協議内容
- ・レトボンの拡大運行並びに公共交通提案事業(案)の取りまとめについて

(3) 駐車場問題検討ワーキンググループの開催(4回)

第1回

- 開催日時 平成19年10月5日(金) 午後2時~午後3時30分

開催場所 甲府商工会議所 4階 401会議室
出席者 10名(事務局を除く)
協議内容 ・共通駐車券事業について

第2回

開催日時 平成19年10月31日(水) 午後2時~午後3時30分
開催場所 甲府商工会議所 4階 401会議室
出席者 13名(事務局を除く)
協議内容 ・共通駐車券事業について

第3回

開催日時 平成19年11月29日(木) 午後2時~午後3時30分
開催場所 甲府商工会議所 4階 401会議室
出席者 13名(事務局を除く)
協議内容 ・共通駐車券事業について

第4回

開催日時 平成20年1月17日(木) 午後2時~午後3時30分
開催場所 甲府商工会議所 4階 401会議室
出席者 10名(事務局を除く)
協議内容 ・共通駐車券事業について

(4) 個別商店街の計画策定等への支援事業

オリオン通り商店会アーケード架け替え事業計画策定支援

当商店会が、紅梅地区再開発事業の実施により、オギノ・パセオビルの解体に併せてアーケードの新築計画を進めている。この計画を具体的に進めるにあたり、組合設立や資金計画などについて、専門家による指導を行った。

なお、組合設立については、中小企業診断士 白倉信司 氏により、指導を行い、平成20年7月の設立認可に向けた体制を整えた。

また、アーケードのデザイン、コンセプトの提案については、一級建築士 長田孝三 氏により、指導提案をいただき、「ジュエリー・アーケード」のコンセプトを確立し、国の戦略的補助金活用に向けた取り組みの参考とした。

桜町四丁目商店街協同組合が取得した土地活用に関する計画策定支援

当商店街が、商店街に隣接している土地約500坪を購入し、中心街を活性化させる再開発事業を計画している。この計画を具体的に進めるにあたり、専門家より当地にあった事業提案をいただき、助成金の活用・資金計画などについて指導を行った。

また、当商店街の再開発事業については、桜町まちづくり会議(商店街役員、甲府市職員、専門家)を組織して、中小企業基盤整備機構よりご紹介いただいた中小企業診断士・一級建築士 石田綽男 氏により、商店街構成員の意見を反映した再開発事業案を提案いただき、今後商店街取り組む事業のモデルとした。

第1回桜町まちづくり会議

1)開催日時 平成19年7月18日(水) 午後2時~午後3時30分

- 2)開催場所 甲府商工会議所 4階 401会議室
- 3)協議内容 専門家による最初の事業提案の説明

第2回桜町まちづくり会議

- 1)開催日時 平成19年8月8日(水) 午後4時～午後5時30分
- 2)開催場所 甲府商工会議所 4階 401会議室
- 3)協議内容 最初事業提案を受けて、商店街構成員へのアンケートの実施について

第3回桜町まちづくり会議

- 1)開催日時 平成19年10月3日(水) 午後1時30分～午後3時
- 2)開催場所 甲府商工会議所 4階 401会議室
- 3)協議内容 アンケートの結果を踏まえた再開発事業の最終提案の説明

なお、専門家による提案は、2回に分けて別添報告書のとおり行った。最初の提案は、環境要因等を調査し、専門家の経験や知識を踏まえた提案を行い、最終提案は、商店街構成員へのアンケートを実施し、地権者等の意見・要望を踏まえた提案とした。

常磐通り名店街協同組合（コリド桜町側）のアーケード撤去による計画策定支援

当商店街はアーケードの老朽化に伴い撤去を検討している。これに併せて、ファザードの整備等を行い、明るい商店街形成を計画している。この計画を具体的に進めるにあたり、景観デザインや資金計画などについて、専門家の指導が必要なことからこれを支援した。

また、アーケード撤去に伴うデザイン案については、一級建築士 荻原聖一氏に商店街の構造や現状を調査いただき、アーケードを整備しない簡易的な（案）とアーケードを整備した（案）の2案を提案いただき、商店街の例会で説明いただき、甲府市中心市街地活性化基本計画の掲載に向けて参考とした。

なお、提案したデザイン（案）については、別添のとおりである。

第1回説明会

- 1)開催日時 平成19年9月29日(土) 午後7時30分～午後9時
- 2)開催場所 コリド桜町「風月堂」

第2回説明会

- 1)開催日時 平成19年11月7日(水) 午後7時30分～午後9時
- 2)開催場所 コリド桜町「風月堂」

5)歩行量調査から見た甲府中心商店街の分析

毎年実施している「甲府中心商店街歩行量調査」の際、計画を予定している商店街で調査員を増員して、来街者が若者なのか高齢者なのかを把握し、年齢層別に調査した。

この来街者の年齢別データを分析して、甲府中心商店街を訪れる来街者の傾向を捉え、基本計画策定及び個別商店街の開発計画策定の参考とした。

なお、調査の実施・分析については、山梨学院大学青木ゼミに委託して行った。

- 1)調査実施日時 3日間

平成19年11月30日(金) 午前10時～午後8時

平成19年12月 1日(土) 午前10時～午後8時

平成19年12月 2日(日) 午前10時～午後8時

2)調査実施地点 4地点

オリオン通り ドトールコーヒー前

ペルメ桜町 旧ローソン前

コリド桜町 河野スポーツ前

銀座通り ブラザー前

(6)甲府市長への提案(甲府市中心市街地活性化基本計画提案事業)

日時 平成19年10月22日(月) 午前10時～

場所 甲府市役所 市長応接室

参加者 甲府市中心市街地活性化協議会 会長 丸茂紀彦氏
委員 河西真一氏

*なお、市長に提出した提案書の内容は次のとおりである。

甲府市中心市街地活性化基本計画提案事業(商業関係ソフト事業)(案)

1.まちづくり推進体制整備に伴う事業(新まちづくり会社の設置)

目的 甲府市内の小売業・商店街の活性化を図る為、まちづくりの事業を専門に行う新しいまちづくり会社を設立し、甲府市が進める甲府市中心商店街活性化基本計画で提示された企画を実施する地域を支援するとともに、活性化に資する事業を展開・支援する。

名称 (未定)

参加者 甲府市、甲府商工会議所、甲府市大型店協議会、甲府商店街連盟 有志

資本金 100万円～

会社形態 株式会社、LLC(合同会社 新会社法による新しい会社組織)など

役員 社長 1名 甲府商工会議所の代表

常務 1名 常勤

取締役 名 大型店・商店街の代表、有志など

監事 名 甲府市の代表、有志など

タウンマネージャー 1名

事業内容 1)小売業・商店街活性化の調査・研究
2)商店街活性化に資する不動産の購入・販売、賃貸借
3)基本計画策定事業への協力
4)甲府市中心市街地活性化協議会の運営
5)再開発・小規模開発への支援、協力
6)商店街活性化事業への支援、協力
7)その他小売商業、商店街の活性化に対する支援、協力

事務局 甲府商工会議所又は中心商店街の空き店舗内に置く

社員 出向者(甲府市、甲府商工会議所、大型店、金融機関など)

2. 甲府中心商店街の賑わい創出のためのイベント事業

郊外のショッピングセンターの進出に伴い、中心商店街は、郊外との差別化を図るため、買物にプラスアルファの魅力が求められている。このような状況の中、甲府の中心商店街に芸術・文化の拠点「桜座」(70数年前に甲府の街からすがたを消した芝居小屋を復活したもの)を設置したことをきっかけに、芸術・文化を切り口にしたまちづくりの気運が高まりつつある。

そこで、芸術・文化を切り口にした下記のイベントを拡大・継続実施をして、中心商店街の賑わいの創出と共に、芸術・文化の香がする街づくりを推進する。

1) やまなし映画祭の開催(H 1 7 ~)

甲府の中心商店街では、現在映画館4館12スクリーンが営業されている。全国的に見ても地方都市でこれだけの映画館が立地しているのは非常に珍しく、甲府の中心商店街を訪れる大きな魅力のひとつとなっている。

そこで、やまなし映画祭を毎年(11月)継続・拡大開催して、賑わい創出を図るとともに、映画と商店街をリンクした街づくりを推進する。

山梨・甲府にゆかり(県内がロケ地、監督が山梨出身、山梨出身の著名人が題材等)の映画の上映

商店街へのなつかしい映画ポスター展示

山梨・甲府を舞台にした映画制作と上映

シナリオコンテスト

24時間映画祭の開催(24時間で制作した映画のコンテスト) など

2) 甲府まちなかミュージックフェスタの開催(H 1 8 ~)

甲府中心商店街コリドー桜町に、桜座を設置したこがきっかけとなり、桜町通り周辺にライブハウスが集積し、ジャズを中心に音楽の風が吹き始めた。

また、以前からアマチュアバンドのストリートライブも盛んに行われていた経緯もあり、学生など若者が、甲府の中心商店街を訪れる大きな魅力のひとつとなっている。

そこで、甲府まちなかミュージックフェスタを毎年(10月)継続・拡大開催して、賑わい創出を図るとともに、音楽と商店街をリンクした街づくりを推進する。

まちなかの音楽祭(アマチャバンドコンテスト)の実施

ジャズストリート(桜座を含めた4ライブハウスの共同ライブコンサート)の実施

ストリートジャムセッションなど路上ライブイベントの実施

参加ライブ施設の10月集中ライブ開催

3) 幕絵を活用したイベントの実施(H 1 9 ~)

甲府市の江戸時代の商家では、小正月の道祖神祭りの際に、「幕絵」という長大な飾り幕を各店舗の軒先に飾って祭りを盛り上げたと言われている。幕絵は、町内ごとに曾我物語や京都名所などの画材を決め、京都の絵師や江戸の浮世絵師に幕絵の制作を依頼して、趣向と贅をこらして競い合ったことがわかっている。現在、歌川広重筆の「甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧」(163.0×1060.2cm)が現存し、山梨県立博物館に展示されている。

そこで、甲府町人の心意気であった「甲府道祖神祭幕」の復活をイメージさせるべく、

幕絵コンテストを実施し、デザイン画入賞者に幕絵を原寸大に描いていただき、甲府中心街に掲示し、更に当時の伝統的なイベントを再現するなどして、伝統文化継承を切り口とした街づくりを推進する。

幕絵コンテストで応募があった作品を毎年10作品ずつアーケードなど中心商店街に展示して、甲府中心商店街の冬の風物詩とする。

幕絵に展示に併せて、市民参加で、小正月に飾る「おやま」作りを実施し、商店街に展示する。

当時の祭りの雰囲気盛り上げるため、桜座等で「歌舞伎」など公演を実施する。

3. 空店舗対策事業

1) 専門的なノウハウもった団体等と協働して行う事業

甲府中心商店街の空店舗を活用し商工会議所が事業実施者となり、空店舗オーナーと賃貸契約を締結して、専門的なノウハウもった団体等に事業運営を委託して行う事業。家賃補助等の支援を行い、委託団体の自立運営に繋げる。ただ単に、空店舗を埋めるというだけではなく、各団体等の専門的なノウハウや資源を生かして商店街の活性化を図る。

・事業実績

まちなかヴァンフォーレプラザ（かすがも～る）

（株）ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブによるグッズ販売店

H14に設置・支援、H17～自主運営、現在も継続中

CAMPUS（かすがも～る）

山梨学院短期大学経営学科学生運営による雑貨販売店

H16に設置・支援、H17～自主運営、H19.3月閉店

銀座街の駅（銀座通り）

1F（協）山梨安心サービスによる高齢者支援施設

2F子育て支援団体「ハッピーキッズ」による子育て支援施設

H17に設置・支援、現在も支援中

桜座（コリドー桜町）

NPO法人街づくり文化フォーラムによる芝居小屋

H17に設置・支援、H18～自主運営、現在も継続中

四菱まちづくり総合研究室（銀座通り）

山梨県立大学学生による中心市街地活性化の拠点

H19に設置・支援、現在も支援中

2) 甲府中心商店街で商売を行いたい創業者等への個別支援事業

・甲府中心商店街の空店舗を活用して、商売をはじめたい創業者及び既存の経営者に対して、家賃の支援を行う事業。立ち上げの3～6か月程度を支援したのち、自主運営に繋げる。

・事業内容と実績

チャレンジショップ事業（H7～H16）

空店舗を商工会議所借上げ（店舗オーナーとは商工会議所が契約）、その店舗を3ヶ月ごとに運営者を募集し、実際に空き店舗の経営を行う事業。その後、実際に経営して、継続可能な方に、残っていただき、店舗オーナーと契約していただき自立に繋げる。

メリット 気軽に空き店舗の経営にチャレンジ出来る。
問題点 創業者等が希望した店舗が選べない。
気軽にチャレンジ出来ることはいいが、あまり継続に繋がらない。
飲食店などの設備投資が必要な業種に対応が難しい。 など
実績 支援先延べ49者、継続13者(移転なども含めて、約27%)

家賃補助事業(H17~)

創業者等が甲府中心街(旧計画エリア)の空店舗で、営業したい方から相談を事前にいただき、希望の店舗等が決まった段階で申込、審査等を経て、家賃補助を行う。

家賃補助は、半額(最高10万円) 期間は6か月

実績 支援先14者(H17-4者、H18-8者、H19-2者
(H19.7.24現在))

継続12者(約86%)

4. 商店街の個店の販売力向上事業(一店逸品事業)

甲府の中心商店街には、老舗店も多く、昔から市民・県民に愛されたお菓子や料理など山梨を代表する逸品が数多くある。

しかし、中心街の空洞化や後継者不足などにより、積極的な事業展開が出来ないため、優れた商品が若い世代等に認知されていない。そこで、当事業を実施し、甲府中心街の既存の逸品を広く周知するとともに、新たな逸品の創出等各個店の販売体制等を見直し、積極的な経営革新の一助とする。

当事業周知のための「一店逸品運動勉強会」の開催

甲府中心商店街より参加店を募集(約20店予定)

専門家による臨店指導の実施

参加店による委員会組織の立ち上げと開催(4回開催)

参加店の逸品を集めたチラシ(カタログ)の作成・PR

5. 商店街の店舗デザイン向上事業(商業デザインコンテスト事業)

地方都市の活性化は、「文化」を軸にした対応が有効と考える。特に、欧米ではこのような考え方が進んでおり、先進事例も多い。カナダ・モントリオールでは、商店街の個店の外観や内装のデザインを年に一度競う「商業デザイン」の顕彰事業を十年前に開始した。受賞した商店は総じて売上が伸び、デザインを手がけた若手芸術家も自信を深め、デザイン産業も成長した。

さらに、商店街・街並みの景観が魅力的になり、住民の都市デザインへの意識が高まったという。こうした取り組みが功を奏して、モントリオール市は昨年、ユネスコの「デザイン都市」に指定された。このような事例を参考に甲府の中心市街地においても「商業デザインコンテスト事業」を行う。

甲府中心市街地のエリアを幾つかに分け、年度ごとにエリアを限定して実施

内装・外観を改装したい商店を募集

参加する設計士(地元)とコラボレーションする芸術家(全国)を募集

参加商店がデザイン画・施行図・予算などを提出

選考委員会を設け、審査を行い、対象商店を決定(年間2~3件程度)

対象商店には、事業資金を助成(1/2~2/3程度) 自己資金分については低利の融資

を斡旋

県・市の支援を受けて、商工会議所又はまちづくり会社などが実施